

地球惑星科学委員会 IUGS 分科会（第 25 期・第 6 回）議事要旨

日時：2022 年 3 月 10 日（木） 10：00 から 11：30

zoom によるオンライン会議

参加者：西弘嗣（委員長）、佃栄吉、堀利栄、木村学、北里洋、中田節也、大久保泰邦、齋藤文紀、奥村晃史、益田晴恵、掛川武（書記）

オブザーバー：磯崎行雄、Simon Wallis、遠藤一佳、田上隆弘、佐野晋一

議事

（1）IGC2024 韓国大会巡検に関して 1

● 近況に関してサイモンウォリス（オブザーバー）から地質学会の取り組みに関する説明があった。IUGS を含めた様々な経路で韓国側とコンタクトしているが大きな進展はない。

（2）IUGS の活動

- 最近の IUGS の活動について北里委員から以下の報告があった。
 - 3 月中旬の理事会で 2021 年度年次報告と次年度計画、2022 年予算立案が行われる。IUGS60 周年記念イベントとして女性研究者に焦点を当てた活動が行われた。ウクライナ情勢に関して IUGS の声明を發した。
 - 海洋地滑りなどを対象にしたタスクフォースの立ち上げが提案され、理事会で可否を議論する。
- First 100 IUGS Geological Heritage Site (IGCP 731) に関して中田委員からプロジェクトの概要やノミネーションスケジュール等に関して説明があった。募集通知と応募締切までが 1 ヶ月と短期間であったので、日本ジオパーク委員会関係者と相談し、日本から 3 候補地を応募した旨の報告があった。
- IAPG のウクライナ侵攻に関する声明發表の報告があった。

（3）チバニアンシンポジウムに関して

● チバニアンシンポジウムに関して報告があった。主催、後援団体の現状の報告があった。ハイブリッド形式で 5 月 24 日に開催する。運営は民間会社に委託し、経費が発生する。

(4) IGC2024 韓国大会巡検に関して2

● IGC2024 年韓国大会の巡検に関する情報交換を行った。木村委員、佃委員、北里委員から説明があった。磯崎オブザーバーから地質学会の動きに関して説明があった。その後、意見交換を行った。特に9月頃まで IUGS 分科会を含めた全体でのアクションが必要などの意見が出た。3月17日開催の IUGS 理事会において委員長がこれに関する問題点を指摘する方向で意見の一致を見た。